



親子活動 テーマ「お米」

お米の感触あそび

今回は本物の「稲穂」が手に入り、みんなで触りました。兄弟姉妹のみなさんも「見たことはあるけど触ったことはない。」らしく、物珍しい様子でした。サワサワという音に耳を傾けたり、勢いよく掴んだり、何だかモソモソする雰囲気にも用心したり、一人一人の感じ方が見られました。

「お米」から

「ごはん」に変身!

お米を炊く手順については、4つのステップに分け、短く分かりやすい言葉で伝えました。弱視のお子さんは、パワーポイントをiPad(12インチ)の画面で見るようにしました。

お米を洗う場面では、手のひらで水面を何度もたたき、頭も体もビショビショに濡れてしまった友達がありました。でも、水やお米が飛び散る様子がとても面白かったらしく、満面の笑顔でした。

炊飯器から湯気が立ち上がりごはんの香りがしてくると、みんなで今か今かと炊飯器の合図の音を待ちました。



楽器づくり(^_^)

年長さんは「レインスティック」、年少さんより年下の友達は「マラカス作り」に取り組みました。マラカス作りでは、お米よりもポウルやプラスチックの空容器、シールなど、それぞれにおもしろいものを見つけて遊ぶ様子が印象的でした。年長さんは、小さな穴につまようじを何本も差し、とても器用に仕上げることができました。



おいしい

「おにぎり」になあれ!

ほかほかのごはんの温かさ、お米とは異なるやわらかい感触をそれぞれのスタイルで感じながら、おにぎりを作りました。鮭や昆布が人気でした。



あまり外でごはんを食べないというお子さんも、この日はもりもりと食べることができました。

「おいしかったね!」



今回は5名の友達が参加しました。また、お兄ちゃん、お姉ちゃんが一緒に参加してくれたご家族もあり、とてもにぎやかな時間になりました。食べることは人にとって最も楽しみなことの一つです。食べることから興味関心が広がること、食材にかかわるいろいろなことを知ることなど、幼児期に大切にしておけるといいですね。みなさんの笑顔に、来年は何がいいだろうかと今から考えようと思います。次回は、3月です。たくさんのお友達の参加をお待ちしています♪